

2021年8月22日

## 2022年度 大学院経営管理研究科

### 経営管理専攻 修士課程

#### 入学試験（経営分析プログラム）

#### 【小論文試験問題】

以下の文章と図は、エンリコ・モレッティ著『年収は住むところで決まる 雇用とイノベーションの都市経済学』から抜粋したものである。（抜粋に際して、小見出しや注記、一部の文章を省略、改変している）。

この文章を読んで以下の（1）から（4）に答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- （1）下線部(C)における「三つの効果」とは何か。三つすべてについて、合わせて200字以内で説明しなさい。
- （2）下線部(D)について、なぜ大学教育への公的助成が問題の解決につながるのか。著者の言う「問題」とは何かを明らかにしたうえで、300字以内で説明しなさい。ただし、説明の中で必ず「私的利益」、「社会的利益」という単語を用いること。またこれらの単語を最初に用いた箇所に下線を引くこと。
- （3）下線部(A)について、「比較の仕方を間違えた」とあるがこれはどういうことか。以下の点全てについて明らかにしたうえで、350字以内で説明しなさい。
  1. 著者がここで検証したい仮説とは何か
  2. 著者の仮説を支持する上で図1では不十分である可能性があるのはなぜか
- （4）下線部(B)について、なぜ「このデータ」によって「落とし穴を回避」することができるのか。以下の点全てについて明らかにしたうえで、350字以内で説明しなさい。
  1. 著者の言う落とし穴とは何か
  2. なぜNLSYの情報があれば、この落とし穴を回避できるのか
  3. 著者の仮説はNLSYを用いた分析によるどのような結果によって支持されたのか

【文章】

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

出典：エンリコ・モレッティ著『年収は住むところで決まる 雇用とイノベーションの都市経済学』プレジデント社、2014年、pp. 132-137.